

平成22年3月期 第1四半期連結決算概要

平成21年7月31日
住友化学株式会社

(単位：億円)

1. 業績

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	平成21年3月期
売上高	4,963	3,408	△1,556	17,882
営業利益	247	23	△224	21
経常利益	253	32	△221	△326
四半期(当期)純利益	151	△15	△166	△592
1株当たり四半期(当期)純利益	9円13銭	△0円91銭	△10円04銭	△35円84銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	2.0%	△0.3%	△2.3%	△9.0%
平均為替レート(円/\$)	104.56	97.36	—	100.71
ナフサ価格(円/KL)	70,000	33,500	—	58,900

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	平成21年3月期
基礎化学	売上高	757	424	△332	2,400
	営業利益	16	△28	△44	△153
石油化学	売上高	1,648	961	△687	5,530
	営業利益	△7	△56	△49	△303
精密化学	売上高	243	148	△95	808
	営業利益	13	△1	△14	16
情報電子化学	売上高	778	460	△318	3,071
	営業利益	72	△31	△104	△10
農業化学	売上高	542	542	0	2,222
	営業利益	58	58	0	244
医薬品	売上高	629	594	△35	2,356
	営業利益	110	98	△12	324
その他	売上高	366	278	△88	1,495
	営業利益	△15	△20	△5	△79
消 去	売上高	—	—	—	—
	営業利益	(0)	4	4	(17)
合 計	売上高	4,963	3,408	△1,556	17,882
	営業利益	247	23	△224	21

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減
売上高	4,963	3,408	△ 1,556
営業利益	247	23	△ 224
持分法投資損益	3	△ 2	△ 5
その他	4	11	7
経常利益	253	32	△ 221
事業構造改善費用	△ 3	△ 2	1
その他	18	-	△ 18
税金等調整前四半期純利益	269	30	△ 238
法人税等	△ 66	△ 9	57
少数株主利益	△ 52	△ 36	16
四半期純利益(△は損失)	151	△ 15	△ 166

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成21年3月期末 現在	平成22年3月期 第1四半期末 現在	増減		平成21年3月期末 現在	平成22年3月期 第1四半期末 現在	増減
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	8,381	8,598	217	支払手形及び買掛金	1,515	1,539	24
現金及び預金	608	586	△ 22	有利子負債	7,954	8,276	322
受取手形及び売掛金	2,943	3,141	198	その他	3,000	2,724	△ 276
たな卸資産	3,357	3,265	△ 93	負債合計	12,469	12,540	70
その他	1,473	1,606	134	(純資産の部)			
固定資産	11,844	11,980	135	株主資本	5,921	5,852	△ 69
有形固定資産	5,678	5,694	16	評価・換算差額等	△ 478	△ 164	313
無形固定資産	634	645	11	少数株主持分	2,313	2,351	38
投資その他の資産	5,532	5,640	108	純資産合計	7,756	8,038	282
資産合計	20,226	20,578	352	負債・純資産合計	20,226	20,578	352

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東大

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 廣瀬 博

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長

(氏名) 酒井 基行

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	340,771	△31.3	2,303	△90.7	3,205	△87.4	△1,508	—
21年3月期第1四半期	496,349	—	24,656	—	25,337	—	15,077	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△0.91	—
21年3月期第1四半期	9.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,057,757	803,785	27.6	344.49
21年3月期	2,022,553	775,628	26.9	329.74

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 568,731百万円 21年3月期 544,366百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	3.00	9.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の配当は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	730,000	△27.7	△5,000	—	△15,000	—	△20,000	—	△12.11
通期	1,620,000	△9.4	35,000	—	30,000	—	10,000	—	6.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 1,655,446,177株 21年3月期 1,655,446,177株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 4,515,958株 21年3月期 4,572,036株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 1,650,880,718株 21年3月期第1四半期 1,650,992,155株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

・当期の配当予想額につきましては、経営環境の先行きを慎重に見極める必要があることから、未定としております。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出が増加に転じるなど一部に景気が下げ止まる兆しが見られましたが、企業収益の悪化により設備投資が大幅に減少したほか、雇用環境が悪化するなか個人消費が低迷を続けるなど、引き続き厳しいものとなりました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期に比べ1,556億円減少し3,408億円となり、営業利益は23億円、経常利益は32億円、四半期純損失は15億円となり、それぞれ前年同四半期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントの概況は次のとおりです。

(基礎化学)

アルミニウムや合成繊維原料は、建材や繊維向けの需要が減少し、市況も大幅に下落したため、販売が減少しました。メタアクリルの販売は国内外ともに出荷が低調に推移し、減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ332億円減少し424億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ44億円減少し28億円の損失となりました。

(石油化学)

スチレンモノマーやプロピレンオキサイド等の石油化学品の販売は、ナフサ等原料価格の下落により市況が大幅に下落したため、減少しました。合成樹脂は、販売価格の下落に加え、自動車等関連業界の需要の減少により、販売が減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ687億円減少し961億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ49億円悪化し56億円の損失となりました。

(精密化学)

医薬化学品や化成品の販売は、出荷の減少や円高の影響により減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ95億円減少し148億円となり、営業損益は14億円減少し1億円の損失となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムやカラーフィルターは、液晶パネルメーカーの減産等の影響により出荷が減少し、販売価格も下落したため、販売が減少しました。加えて、円高の影響により、在外子会社の邦貨換算後の売上高が減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ318億円減少し460億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ104億円減少し31億円の損失となりました。

(農業化学)

飼料添加物の販売は需要の伸長を背景とした販売価格の上昇により増加しました。農薬は海外を中心に出荷が堅調に推移し、販売が増加しました。一方で円高による在外子会社の邦貨換算の影響があり、売上高は542億円、営業利益は58億円と、それぞれ前年同四半期並みとなりました。

(医薬品)

アムロジン（高血圧症・狭心症治療薬）は特許期間満了の影響により販売が減少しました。ガスモチン（消化管運動機能改善剤）、メロペン（カルバペネム系抗生物質製剤）、プロレナール（末梢循環改善剤）に加え、昨年上市したロナセン（統合失調症治療剤）等の拡販に引き続き注力しましたが、売上高は前年同四半期に比べ35億円減少し594億円となりました。営業利益は退職給付数理差異償却の負担増もあり12億円減少し98億円となりました。

(その他)

上記6部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析、高分子有機EL等の新規事業における開発・販売等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ88億円減少し278億円となり、営業損益は前年同四半期に比べ5億円悪化し20億円の損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ352億円増加し、2兆578億円となりました。株式相場の上昇により投資有価証券の時価評価が増加したこと、在外子会社および関連会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円安となったことなどが要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ70億円増加し1兆2,540億円となりました。有利子負債(短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債及び長期借入金の合計でリース債務を除く)が前連結会計年度末に比べ322億円増加しましたが、流動負債(その他)に含まれる未払金や引当金が減少しました。

純資産(少数株主持分を含む)は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金などの増加により、前連結会計年度末に比べ282億円増加し8,038億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇し、27.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績見通しは、平成21年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・ たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、一部の連結子会社では、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・ 原価差異の繰延処理

当社および一部の連結子会社では、季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産のその他として繰り延べております。

・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

・ 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期2年超かつ受注金額50億円超の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四

半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による売上高および損益への影響は軽微であります。

5 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,628	60,827
受取手形及び売掛金	314,073	294,316
有価証券	43,325	36,522
商品及び製品	233,791	248,057
仕掛品	21,537	17,915
原材料及び貯蔵品	71,123	69,743
その他	118,751	112,891
貸倒引当金	△1,427	△2,135
流動資産合計	859,801	838,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	199,525	200,888
機械装置及び運搬具(純額)	205,297	206,127
その他(純額)	164,623	160,805
有形固定資産合計	569,445	567,820
無形固定資産		
のれん	12,566	12,949
その他	51,925	50,409
無形固定資産合計	64,491	63,358
投資その他の資産		
投資有価証券	408,936	384,647
その他	156,762	169,764
貸倒引当金	△1,678	△1,172
投資その他の資産合計	564,020	553,239
固定資産合計	1,197,956	1,184,417
資産合計	2,057,757	2,022,553

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,915	151,519
短期借入金	147,236	165,357
1年内償還予定の社債	47,419	26,119
コマーシャル・ペーパー	126,000	127,000
未払法人税等	9,091	13,265
引当金	19,960	28,936
その他	139,554	155,904
流動負債合計	643,175	668,100
固定負債		
社債	242,020	272,040
長期借入金	264,941	204,851
退職給付引当金	29,933	29,613
その他の引当金	10,550	11,697
その他	63,353	60,624
固定負債合計	610,797	578,825
負債合計	1,253,972	1,246,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,732	23,719
利益剰余金	474,483	481,459
自己株式	△2,738	△2,754
株主資本合計	585,176	592,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60,023	45,743
繰延ヘッジ損益	253	△1,684
土地再評価差額金	3,812	3,811
為替換算調整勘定	△80,533	△95,627
評価・換算差額等合計	△16,445	△47,757
少数株主持分	235,054	231,262
純資産合計	803,785	775,628
負債純資産合計	2,057,757	2,022,553

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	496,349	340,771
売上原価	382,717	254,701
売上総利益	113,632	86,070
販売費及び一般管理費	88,976	83,767
営業利益	24,656	2,303
営業外収益		
受取利息	561	715
受取配当金	2,765	1,905
持分法による投資利益	310	—
雑収入	3,809	2,780
営業外収益合計	7,445	5,400
営業外費用		
支払利息	2,604	2,603
コマーシャル・ペーパー利息	199	57
持分法による投資損失	—	203
為替差損	1,545	—
雑損失	2,416	1,635
営業外費用合計	6,764	4,498
経常利益	25,337	3,205
特別利益		
有形固定資産売却益	940	—
投資有価証券売却益	859	—
特別利益合計	1,799	—
特別損失		
事業構造改善費用	278	196
特別損失合計	278	196
税金等調整前四半期純利益	26,858	3,009
法人税等	6,576	897
少数株主利益	5,205	3,620
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,077	△1,508

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,858	3,009
減価償却費	29,696	24,923
持分法による投資損益(△は益)	541	1,083
引当金の増減額(△は減少)	△9,829	△10,141
受取利息及び受取配当金	△3,326	△2,620
支払利息	2,803	2,660
投資有価証券売却損益(△は益)	△859	—
事業構造改善費用	△87	△61
有形固定資産売却損益(△は益)	△940	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,183	△16,018
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,942	12,102
仕入債務の増減額(△は減少)	6,400	141
その他	△14,908	△4,616
小計	24,224	10,462
利息及び配当金の受取額	3,330	2,261
利息の支払額	△3,553	△3,623
法人税等の支払額	△17,676	△13,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,325	△3,995
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,299	△2,314
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,107	13,506
固定資産の取得による支出	△37,069	△28,310
固定資産の売却による収入	2,358	451
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△135	—
その他	△2,992	2,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,030	△13,954
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,329	△20,876
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	18,000	△1,000
長期借入れによる収入	4,236	63,320
長期借入金の返済による支出	△4,776	△3,073
社債の発行による収入	47,656	2,175
社債の償還による支出	△33,526	△11,027
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△293
自己株式の取得による支出	△28	△14
自己株式の売却による収入	—	40
配当金の支払額	△9,913	△4,956
少数株主への配当金の支払額	△4,092	△2,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,886	21,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,155	1,254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,974	5,260
現金及び現金同等物の期首残高	107,408	85,802
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	482
現金及び現金同等物の四半期末残高	98,434	91,544

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	基礎化学 (百万円)	石油化学 (百万円)	精密化学 (百万円)	情報電子 化学 (百万円)	農業化学 (百万円)	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1)外部顧客に 対する 売上高	75,670	164,820	24,338	77,827	54,233	62,902	36,559	496,349		496,349
(2)セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	2,967	2,205	2,288	1,203	406	11	13,658	22,738	(22,738)	
計	78,637	167,025	26,626	79,030	54,639	62,913	50,217	519,087	(22,738)	496,349
営業利益 (△は営業損失)	1,589	△711	1,253	7,245	5,794	11,019	△1,487	24,702	(46)	24,656

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	基礎化学 (百万円)	石油化学 (百万円)	精密化学 (百万円)	情報電子 化学 (百万円)	農業化学 (百万円)	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高										
(1)外部顧客に 対する 売上高	42,437	96,137	14,797	45,986	54,234	59,411	27,769	340,771		340,771
(2)セグメント 間の内部 売上高又は 振替高	1,407	2,228	2,165	818	349	3	15,235	22,205	(22,205)	
計	43,844	98,365	16,962	46,804	54,583	59,414	43,004	362,976	(22,205)	340,771
営業利益 (△は営業損失)	△2,843	△5,620	△108	△3,123	5,809	9,774	△1,975	1,914	389	2,303

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分をベースに、事業の種類・性質の類似性を勘案して7つに区分した。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要な製品・事業
基礎化学	無機薬品、合繊原料、有機薬品、メタアクリル、アルミナ製品、アルミニウム等
石油化学	石油化学品、合成樹脂、合成ゴム、合成樹脂加工製品等
精密化学	機能性材料、添加剤、染料、医薬化学品等
情報電子化学	光学製品、カラーフィルター、半導体プロセス材料、電子材料、化合物半導体材料、電池部材等
農業化学	農薬、肥料、農業資材、家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、飼料添加物等
医薬品	医療用医薬品、放射性診断薬等
その他	電力・蒸気、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析業務、高分子有機EL等の新規事業等

3 営業費用はすべて各セグメントに配賦した。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。